

平成 24 年度における契約状況のフォローアップ

平成 25 年 8 月

独立行政法人日本スポーツ振興センター

1. 平成 20 年度と平成 24 年度に締結した契約の状況

(単位：件、億円)

	平成 20 年度		平成 24 年度		比較増△減		見直し計画	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
競争入札等	(68.3%) 164	(32.0%) 40	(61.7%) 158	(9.3%) 27	(△3.7%) △6	(△32.5%) △13	(70.4%) 169	(34.2%) 43
企画競争・公募	(12.9%) 31	(55.0%) 69	(9.4%) 24	(80.8%) 233	(△22.6%) △7	(237.7%) 164	(12.9%) 31	(55.0%) 69
競争性のある契約 (小計)	(81.2%) 195	(87.0%) 110	(71.1%) 182	(90.1%) 261	(△6.7%) △13	(137.3%) 151	(83.3%) 200	(89.2%) 112
競争性のない随意 契約	(18.8%) 45	(13.0%) 16	(28.9%) 74	(9.9%) 29	(64.4%) 29	(81.3%) 13	(16.7%) 40	(10.8%) 14
合計	(100%) 240	(100%) 126	(100%) 256	(100%) 289	(6.7%) 16	(129.4%) 163	(100%) 240	(100%) 126

(注1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注2) 比較増△減の()書きは、平成 24 年度の対 20 年度伸率である。

(注3) 見直し計画の計数等は、「独立行政法人の契約状況の点検・見直しについて(平成 21 年 11 月 17 日閣議決定)」に基づき公表した見直し計画である。

2. 見直し計画に掲げた競争性のない随意契約の割合に到達しなかった主な理由

「随意契約等見直し計画」において是正することとした契約については、5件中4件が是正され、「JISS/NTCの電気使用契約」については、使用実績が高負荷率であることを理由に特定規模電気事業者から見積書の提出を辞退されており、入札等への移行は再検討することとしている。

新規契約事項（ロンドンオリンピック支援業務のうち、サポート場所及び宿泊場所の借上げ）については、世界各国がよりよい物件をいかに確保するか競争している状態であり、また、その候補地の選定にあたっては、関係機関と協調し現地で事前に候補地を選定する必要があったため、予算決算及び会計令に規定されている「外国で契約するとき」及び「急速に契約しなければ、契約する機会を失う（適期契約）」を適用し、やむを得ないものとして随意契約となった。

3. 平成24年度における競争性のない随意契約のうち、会計法等の規定により随意契約によることができるとされている場合に相当する契約

件数：55件（74.3%）※競争性のない随意契約74件に対する比率

金額：26億円（89.7%）※競争性のない随意契約29億円に対する比率

4. 一者応札・応募の改善状況

(単位：件、億円)

		平成 20 年度	平成 24 年度	比較増△減
2 者以上	件数	101 (51.8%)	91 (50.0%)	△10 (△ 9.9%)
	金額	88 (80.5%)	244 (93.5%)	156 (77.3%)
1 者以下	件数	94 (48.2%)	91 (50.0%)	△ 3 (3.2%)
	金額	21 (19.5%)	17 (6.5%)	△ 4 (△19.0%)
合 計	件数	195 (100.0%)	182 (100.0%)	△13 (△ 6.7%)
	金額	110 (100.0%)	261 (100.0%)	151 (137.3%)

(注1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注2) 合計欄は、競争契約（一般競争、指名競争、企画競争、公募）を行った係数である。

(注3) 比較増△減の（ ）書きは、平成 24 年度の対 20 年度伸率である。

5. 一者応札、一者応募に係る改善方策

URL http://www.jpnsport.go.jp/corp/Portals/0/corp/pdf/090724_issyakaizen.pdf

6. 法人と一定の関係を有する法人との契約状況

該当案件なし